

# 予防効果、治療効果で 病害から作物を守る

●人畜、訪花昆虫に影響が少なく、施設栽培でも安心。

●薬剤跡がつきにくく、作物を汚しません。



住商

# ザンロール<sup>®</sup> 乳剤



- うどんこ病
- 灰星病
- 葉かび病
- さび病
- 白さび病
- 黒星病
- エフアリーリング病

かき・いちご・さやえんどう・ばら・メロン・きゅうり・なす・ピーマン

もも

トマト

ねぎ・芝

食用ぎく・きく

ばら

日本芝・ベントグラス



# 住商 サプロール<sup>®</sup> 乳剤

野菜・果樹等の病害防除に ●有効成分:トリホリン・・・18%

## 適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリホリンを含む農薬の総使用回数
かき	うどんこ病	1000倍	200-700L/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内
もも	灰星病	800~1000倍		収穫前日まで	5回以内		5回以内
いちご	うどんこ病	2000倍			6回以内		6回以内
メロン		1000~2000倍	5回以内		5回以内		
きゅうり なす			100-300L/10a	3回以内	3回以内		
ピーマン	1000倍	収穫開始14日前まで		3回以内			3回以内
トマト	葉かび病	1500倍	収穫前日まで		5回以内		
さやえんどう	うどんこ病	800~1000倍	収穫7日前まで	5回以内			5回以内
ねぎ	さび病	1000倍	収穫14日前まで		5回以内		
食用ぎく	白さび病	1000~1500倍	—	5回以内			5回以内
きく		うどんこ病 黒星病	1000倍		1-2L/m <sup>2</sup>	6回以内	
ばら	さび病	10L/m <sup>2</sup>		発病初期			6回以内
芝	フェアリーリング病						
芝(日本芝) 芝(ベントグラス)							

## 使用上の注意

- 1: 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤及び微量要素肥料との混用はさけること。
- 2: ばらに使用する場合、品種(クィーンエリザベスなど)によっては高温乾燥時には薬害を生ずる恐れがあるので、所定の使用濃度を厳守するとともに、夏期などの高温時には朝夕の涼しい時に散布すること。
- 3: メロン、いちごは薬害を生ずる恐れがあるので、所定の散布濃度を厳守すること。
- 4: いちごに使用する場合、品種「芳玉」には薬害を生ずる恐れがあるので使用しないこと。
- 5: 野菜に使用する場合、高温時や幼苗及び軟弱ぎみの栽培条件となっている場合には、薬害を生ずる恐れがあるので使用はさけること。
- 6: 菊に使用する場合、品種(新精興など)、作型(促成栽培など)によっては散布後の新生葉に奇形などを生ずる恐れがあるので留意して使用すること。特にはじめに使用する品種、作型ではあらかじめ小面積で試用して使用条件下での薬害の有無を確認するなど、注意して散布することが望ましい。
- 7: 本剤はなし(幸水系、晩三吉系)に対して極微量で薬害を生ずるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。また、同一の散布器具、容器を用いてなしに薬剤散布をしないこと。やむをえず本剤使用後の散布器具をなしに使用する場合には、薬液タンク、散布器具、配管部分、ホース等の内部を十分に洗浄したのち、更にその散布器具を用いて、散布を予定しているなしのすべての品種の新葉の少数(数枚程度)に清水を散布し、7日程度おいたのち薬害を生じないことを確認した上で使用すること。
- 8: 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意すること。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。

## 住商アグロインターナショナル株式会社

〒104-6223  
東京都中央区晴海1丁目8番12号  
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ  
TEL.03-6221-3249

取扱店